

ひしもにた

議会だより

発行：群馬県下仁田町議会



完成した給食センター（平成 29 年 4 月稼働）



食育プロジェクト（菜の花編）3月12日（馬山地区）

あなたと議会を結ぶ
確かな情報と信頼

主な
内容

平成29年度予算	2
一般質問等	3～9
審議結果	10～11
行政視察報告	12～13
シリーズ消防団	14

平成 29 年度予算

一般会計は 51 億 8,400 万円

前年度比 2 億 6,100 万円の減額 (-4.8%)

■主要事業

(単位：万円)	
事業名等	予算額
ふるさと納税促進事業（ふるさと納税の促進と下仁田町の認知度アップ）	6,706
ねぎとこんにゃく下仁田奨学金事業【新】（地域全体で応援する新しい奨学金制度）	2,562
定住促進奨励金（町内新築住宅取得者へ 25 万円支給）	400
空き家等利活用事業（経費の 2 分の 1 以内（100 万円限度））	300
猟友会への駆除委託、捕獲檻及びワナ等の資材購入、猿追払い員雇用	1,864
創業促進事業【新】（IT を活用した創業および販路拡大の推進）	441
「道の駅しもにた」再整備事業 （第 2 期工事（交差点改良、駐車場、防災設備、コミュニティ施設等）	4 億 207
町道改良（過疎道路 3 路線）（一般町道 3 路線）	1 億 2,980
文化財調査保護（荒船風穴関連）	441

○少子高齢化対策事業

出産祝金（出産時に第 1 子 5 万円、第 2 子 10 万円、第 3 子以降 20 万円支給）	245
保育料第 2 子以降無料	998
入学祝金（小学校、中学校入学時に祝金 3 万円と商品券 2 万円分を支給）	305
福祉医療費助成 （障害者、母子家庭、父子家庭および中学校 3 年生までの子どもの医療費の助成）	5,855
不妊・不育治療費助成（治療費の 2 分の 1 助成（100 万円限度））	100
無痛分娩助成【新】 （無痛分娩費用の 2 分の 1 助成（10 万円限度））	30
タクシー利用券交付事業（利用券の拡充、駅からの距離を基準に 3 段階に区分）	260

【新】は新規を表しています。

(万円未満切り捨て)

3 月定例会の概要

▼開会日（3 月 7 日）

会期を 17 日までとする決定を行い、4 人の議員が、町長の公約と町政のさまざまな課題について質問を行いました。

▼議案の上程・採決（9 日）

人事案件・条例等の改正案など 17 議案を上程・採決し、平成 29 年度当初予算および平成 28 年度補正予算を予算決算特別委員会に、陳情 1 件を総務常任委員会に付託しました。

▼予算決算特別委員会（10 日）

▼総務常任委員会（13 日）

▼最終日・採決（17 日）

審議結果は 10・11 ページをご覧ください。
「若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める陳情」は、継続審査になりました。

一般質問

町政を問う

■質問事項一覧 >>>

◆岡田邦敏 議員 30 分・・・4 ページ

- ① C S (住民満足度)について
 - ・職員は住民の立場、同じ目線での対応は
 - ・挨拶ができる職員は
 - ・フレックスタイムの導入の検討は
- ② E S (職員満足度)について
 - ・病気等が原因で休んでいる職員はいませんか
 - ・各課との横のつながりは、できていますか
 - ・福利厚生に、不満はないか
 - ・時間外勤務については

◆島崎紘一 議員 60 分・・・5 ページ

町長公約について

- ①公約実現に向けて具体的な取り組みは

平成 29 年度事業予算について

- ①新年度予算の特徴は
- ・新年度事業について
- ②町長公約は反映されているか
- ③地方創生交付金について

下仁田町史編さんについて

- ①今までの経過について
- ②町史編さんの必要性について

◆永井正之 議員 40 分・・・6 ページ

林業振興について

- ①主伐・間伐事業の進捗状況は
 - ・搬出材積 (m³) 面積 (m²) は
 - ・近年の木材価格・搬出経費は
 - ・主伐・間伐をしてもらう方策は
- ②作業道を有効利用する為には
- ③山林の主伐・間伐をふるさと納税事業に入れられるか
 - ・返礼品に使えないか (花粉対策)

◆佐藤 博 議員 60 分・・・7 ページ

町長公約おもな目標について

- ①町内中心地活性化について
- ②基幹産業の後押しについて
- ③高齢者対策について
- ④子育て世代対策について
- ⑤目標とする公約の中での 29 年度予算への反映について

スマホ全戸配布計画について

- ①町長としての考え方について

町史編さん

- ①基本的な考え方について
- ②今後の対応について

(傍聴者数 8 人)

※次ページからの質問と答弁は、紙面の都合上、内容を要約して掲載しています。会議録の詳細は、下仁田町議会のホームページでご覧になれます。

一般質問とは

一般質問とは、議員が町の行財政全般（公共事務、団体委任事務、行政事務の一切を含む）にわたって、事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を執行者に求め、町が町民のための適切な町政運営を進めているかチェックするものです。



岡田 邦敏 議員

問 CS(住民満足度)について

答 職員のスキルアップによる住民サービス

議員 職員は住民に対しマニュアル通りのサービスだけでなく住民の立場で、また同じ目線での対応が必要ではないか。

例えば、各地区に立っている防災無線が聞きづらい、屋内用は後でつけると有料になるか。

総務課長 聞こえづらい等の問い合わせがたまにある。防災無線の電話対応サービス

スや下仁田インフォメールの登録をお願いしている。

議員 林道や町道の整備や修復が思う様に進まないが。

農林商工課長 緊急性または費用対効果を加味して、順次行っている。

議員 電話のたらい回しについて。

総務課長 各課直通番号を設定しており、広報等で周知し町民

の方に不安を与えない様に注意したい。

議員 きちんと挨拶ができる職員は、どのぐらいいるか。

総務課長 理由は関係ないので、挨拶をきちんとする様に周知していきたい。

議員 フレックスタイム導入の検討、サマータイトムだけでも実施すれば住民の方が役場に寄りやすいのでは。

総務課長 毎週水曜日には、住民窓口の延長を行っているが利

用者が少ない。住民サービスの一環として開庁時間の拡大を行うことは可能だが、なかなか難しい問題がある。

問 ES(職員満足度)について

答 職場環境の充実

議員 病気や何らかの理由で長期に休むことはないか。

総務課長 労働安全衛生法の改正により、ストレスチェックの実施が義務付けら

れ、心の健康づくり計画等の要項が策定されている。

議員 介護や育児休暇の取得状況は。

総務課長 男性の育児取得実績はまだないが、町特定事業主行動計画で男性の家庭生活参加への推進について示されているので、今後も周知を図っていきたい。

議員 横や縦の連携、大きなことが課長・副町長・町長まで(報告・連絡・相談)されているか。

総務課長 課長会議や課内会議等で、今後とも報告・連絡・相談の周知徹底を図っていききたい。

議員 部署または人によつて、時間外勤務の差は。

総務課長 27年度は全体で、3300万円、28年度1月末までは前年より大幅に減

少している。

議員 町がテーマとして掲げている「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を進める上で、職員のスキルアップと住民サービスの充実が重要。

町長 職員は町民の公僕であると常々話している。必要であれば、講師を招き職員研修も考える。ともかく町民に対しての立場をよく考えて進めたい。

議員 上から目線的ではなく、また全職員が一度に研修するのは行政の場合は不可能ですので、できる部署から、またできることから職員自ら考え行動すれば、必ず良い結果が出て住民サービスにつながると思います。



庁舎内の様子



島崎 紘一 議員

問 町史刊行の計画は

答 必要性を十分認識している

議員 所信表明において4項目の目標を掲げられた。この1年に限らず4年間具体的にどう取り組まれるのか。

町長 すぐにはできるとは29年度予算で対応した。中長期的には財政面での負担も考え実現できるかを考えていきたい。

議員 議員時代の自らの発言、提案された事の実現のために町

の発言、提案された事の実現のために町

議員 13年間の議員時代に多くの一般質問をされている。そのいくつかを伺います。まず、※CLTを中心とした林業振興をどう取り組むか。

町長 林業の疲弊というか山の木をどうし



世界遺産 荒船風穴

ていくか大変な状況、その延長線上にCLTを目標に掲げてきた。国、県、町、全体で考えていかななくてはならないが、まず国からだと考えている。

町長 文化庁とも相談、検討をして財政事情も含め考えていきたい。

町長 まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき町の発展につながる事業を中心に効率的な予算配分を行い町民中心のまちづくりを目指して取り組むことです。

議員 国の方針、計画に沿っていない、検討の必要があるのではないか。

※CLT(クロス・ラミネイティド・ティンバー) 板の層を各層で互いに直交するように積層接着した厚型パネル。直交集成板

町長 西毛地域の首長間では研究会立ち上げの方向で検討中で、町では林政連絡会議の中で検討して進めたい。

議員 土地開発公社の長も町長の兼務である。今後具体的な事を議会に提案してもらいたい。

町長 高齢者対策のタクシー券の拡充を行った。

議員 町史編纂について、平成20年に予算化されたが、その後の経過については。

申請したが、いろいろ問題を指摘され条件を満たしていないということで断念した。

町長 28年度地方創生推進交付金は県と上野村を含め16市町村、23事業が認定されたが町の対応は。

町長 28年度補正の地方創生拠点整備交付金では南牧、神流町を含め6町村7事業が交付決定されたが。

申請したが、いろいろ問題を指摘され条件を満たしていないということで断念した。

町長 28年度補正の地方創生拠点整備交付金では南牧、神流町を含め6町村7事業が交付決定されたが。

町長 28年度補正の地方創生拠点整備交付金では南牧、神流町を含め6町村7事業が交付決定されたが。

申請したが、いろいろ問題を指摘され条件を満たしていないということで断念した。

町長 28年度補正の地方創生拠点整備交付金では南牧、神流町を含め6町村7事業が交付決定されたが。

町長 28年度補正の地方創生拠点整備交付金では南牧、神流町を含め6町村7事業が交付決定されたが。

申請したが、いろいろ問題を指摘され条件を満たしていないということで断念した。



永井 正之 議員

問 どうなる林業、町長決断を

答 伐った所有者に応援をしたい

議員 今、下仁田町の

山林は野生動物そして山ヒルの天国である。

間伐は、少々進んでいるが、主伐（皆伐）は、ほとんど進んでいない。原因は何か。

農林商工課長 木材価格と、搬出経費が同額で、所有者が、もう放っておこうという考えだと思えます。

議員 主伐・間伐の補助事業や支援は。

農林商工課長 間伐に

対しては、国、県、

町の補助事業があるが、主伐には何もない。

議員 主伐に町独自の補助事業等の考え

は。

町長 山林所有者に、

山の木を伐って貰えるような、意欲の出る施策を考えていきたい。

主伐に対して、伐った所有者に、何らかの応援をしたい。

議員 決定ということ

で受け止めて良いか。

町長 その方向で考えている。

議員 作業道の有効利用ということだが、林業は、循環作業でもある。まず間伐で

道を開け、主伐、植林、管理等いろいろな作業に利用したい。

そこで、植林や保育等に対しての施策はどうなっているか。

農林商工課長 植林や保育に関しては、国

県の補助があるが、10分の10ではありません。

議員 普通林は、植林義務がないとのこと、このままでは、

荒山になってしまふ。町で「上乗せ」

ができるか。

町長 その部分も考えているが、一部に

受益者負担ということ

とも必要だと思う。全面的には、植林も含めた中で、考えていきたい。

●花粉対策をアピール

議員 下仁田町は山林の産地、つまり花粉の産地でもある。こうした中、花粉対策がふるさと納税にアピールできないか。

地域創生課長 大変難しい問題です。全国

を調べても、花粉症対策で、ふるさと納税のものを使得、

充当してメニューの中に取り入れるというところは、未だ見当たりません。

問 地域にせまる山林、なんとかして

答 事業の継続を要望している

議員 戦後の木材不足

等により、山林はもとより、住宅地の側まで植林が進み、その後の管理不足のた

め、住民は大変苦慮している。

「ぐんま緑の県民事業」での、道路沿いの森林伐採は、皆喜んでい

しかし、今では住宅地や田畑の側まで山林が迫っているのが現状です。伐採については、個人折衝では大変なことで、

こういう事業で進めていただけないか。

農林商工課長 「ぐんま緑の事業」は、平成30年で終了というところだが、地域住民の関心が高く要望も多数挙げられている。継続をしていただけるように、町村会等を通じて、県に要望している。



花粉の少ない品種の植林



問 スマホ全戸配布は

答 一旦白紙に戻す

議員 町なか活性化、

具体的構想は。

町長 駅周辺にガイダンス施設と情報観光センター的なものをつくりたい。

議員 図書館機能を持った複合施設とは。

町長 可能ならばです。

議員 可能性か。

町長 可能性のことは、はつきり言えませんが。

議員 聞いた方は期待

する、検討してから

発言を。

町長 考え方の問題だ

と思う。

議員 早期にしっかりと

考えを。

議員 日本ジオパーク

の再認定にイエロー

町長 一部見ました。

議員 対策は万全か。

町長 万全という言葉はなかなか難しい。

議員 一部でなくて全

てしっかりとご覧にな

って努力を。

町長 一部というのは、

一番厳しい部分を見た。

議員 認定取り消しの

心配をしている。

しっかりと報告書を読

んで自ら指揮を。

議員 基幹産業の後押し

し方策は。

町長 道の駅の再整備

の中、特設販売ス

ペースを充実させ、

販売消費拡大を図

る。

議員 継続事業の引用

だ。高齢化、人手不

足、生産者の減少、

耕作放棄地対策にも

目を向けた基本的な

準備が必要だ。

町長 今までが狭いと

いうことで広げたこ

とだと思いました。

議員 CLT工法によ

る森林の活性化、具

体的な後押し方策

は。

町長 国の取り組み、

ロードマップが進行

中、国の動向を見る。

議員 CLT工法の視

察の感想は。

町長 木材が木材でな

くなるような画期的

な方法と感じた。C

LT自体が集成材、

大きな工場でなくて

も生産できる、将来

的な展望を感じた。

議員 私も50年の実績

を持つ工場を視察し

た。これを新規にや

るのは大変だと感じ

た。

議員 町営バスの無料

化は実現できるの

か。

町長 特別交付税と県

の補助があり、今す

ぐは厳しい、検討し

ている。

議員 しっかりと対処

を。利便性アップは。

町長 難しいものがあ

り、条件を加味しな

がら検討する。

議員 バスルートに役

場を入れる。実現は。

町長 いったいとは言え

せん。問題点を検討

していく。

議員 保育料の減額

は。

町長 保育料減額、給

食費減額は検討し

たが財政事情が厳し

い。

議員 スマホ全戸配

布、結論を出すべき

時期。

町長 金井前町長によ

る取り組みであり、

一旦白紙に戻す。

議員 白紙ですね。

厚生病院は平成29

年度に1億円の借り

入れをする、運転資

金の借り入れをしな

いと運営が成り立た

ない。財政の大変厳

しい状況でも公約実

現に期待する。

議員 財源確保にはど

んな考えが。

町長 考えはあります

が、今は検討中と答

えておく。

議員 検討中。考えて

おります。という答

弁が多い。



実証事業（平成28年3～6月）高齢者195人対象
スマホ受け取り72人（20人未使用）

安否確認画面

予算決算特別委員会（傍聴者2人）

▼主な質疑

◆平成28年度下仁田

町一般会計補正予算

（第5号）

問 急傾斜地対策で減

額が大きい理由は

答 県の事業である急

傾斜地崩壊対策事業

2カ所分の町負担金

であるが、全体事業

費が9000万円か

ら2988万円に下

がったため、比例し

て町の負担金も減額

となっている。

◆平成28年度下仁田町

浄化槽整備事業特別

会計補正予算（第3

号）

問 下水道普及率が県

下でも最低の理由は、

答 高齢者世帯や、場

所が悪く設置が困難

だったり自腹の工事

費が高かったりする

場合には難しい。

問 共同で合併浄化槽

を使用することも可

能か。

答 可能である。

◆平成29年度下仁田町

一般会計予算

【歳入】

問 町民税滞納分の徴

収方法は、

答 通常の納税通知書

発送後、督促状の発

送となる。その後、

月末の課職員による

電話催告、全庁一斉

滞納整理、夜間滞納

整理を行い、さらに

預金調査等の後差し

押さえを行っている。

問 固定資産税収入額

の増額理由は、

答 28年度実績見込み

に、新築軽減のない

大きな別荘を含む別

荘の新築および住宅

ローン金利の低下に

よる新築住宅の建築

増等を加味した。

問 軽自動車税収入額

の増額理由は、

答 13年経過した軽自

動車は14年目から重

課になり新車も税額

が上がった新税率と

なるため。

問 荒船風穴の入場見

込と昨年の実績は、

答 一般入場者500

円を1万1880

人、歴史館入場割引

者3000円を200

人で600万円見込

んでいる。昨年は、

全体で1万3161

人の方が見学に來ら

れた。

【歳出】

問 荒船風穴に行く

ルートで県道浅科線

に待避所をあと3カ

所設ければ、休日の

交通規制をしなくて

も屋敷地区からの一

方通行のみで可能で

はないか。

答 荒船風穴保存整備

委員会に富岡土木事

務所の担当もいるの

で検討をしていき

たい。

問 消防団員勧誘方法

を変えていく必要

性は

答 機能別団員制度を

作り、消防団OBに

入っていただきたい

と考えている。これ

は昼間の火災等に

出動できる制度で、

4月から運用してい

く予定であり、様

子を見ていきたい。

問 防火水槽の工事請

負費について。

答 東町、大桑原、役

場敷地内の3カ所を

予定している。

問 防災無線施設の

バッテリー交換頻度

は、

答 メーカー推奨期間

は5年間で、5年を

過ぎると設置された

場所にもよるが正常

に機能しなくなる恐

れがある。5年間で

交換していれば防災

無線の機能は維持で

きる。

問 子育て支援基金の

積み立て財源は何か。

答 ふるさと下仁田応

援寄附金の子育て支

援目的のもので、平

成29年度の充当先

は、入学祝金と保育

料無料化分です。

また、新たに子育

て支援事業で充当で

きるものがあれば、

随時対応したい。

問 新年度の教育方針

と予算関係、さらに

2020年の教育改

革に向けての準備に

ついて。

答 学習指導要領の改

定での大きな変更点

は、主に小学校5・

6年生の外国語活動

が外国語に、3・4

年生に外国語活動が

導入され、高学年で

は中学と同様に週29

時間と授業時間が増

える。道徳は「特別

な教科道徳」とな

り、ICT関連の※プ

ログラミング学習に

ついては、タブレット

等を小中学校予算

に計上している。



プログラミング教育

問 街灯維持管理の内訳は。

答 電気料、LED器具購入費、交換費用を計上しており、修理が必要なものからLEDに交換している。年間約250カ所を予算計上している。

問 町は新規に街灯を設置しないということだが。

答 新規の設置は考えていないが、必要なものは検討したい。

問 急傾斜地対策の今年の予定箇所は。

答 平成28年度に引き続き関口地区と中井地区の2カ所である。

問 集落高齢者等タクシー利用券交付事業について

答 地区により30枚、40枚、50枚を配布する。

問 老人クラブの数と人数はどのくらいか。

答 4クラブ220人、内訳は城西区長

寿会82人、東長寿会50人、下町長寿会第一37人、下町長寿会第二51人です。

問 有害鳥獣捕獲頭数と報償費は。

答 平成29年2月末現在の捕獲頭数は、サル29頭、シカ511頭、イノシシ135頭、ハクビシン97匹、カラス75羽。

平成29年度は、サル25頭、シカ590頭、イノシシ155頭、ハクビシン110匹、カラス70羽を見込んでいる。また、平成28年度の報償費は約668万円で、平成29年度は約795万円を計上している。

問 有害鳥獣捕獲に対する新しい対策は。

答 ジビエとしては、放射能関係で対応できない状況だが自粛が解除されれば考え

ていきたい。

猟友会では、埋設の改善策として土地を借り、ウンボを購入し使用している。今後支援をしたい。

問 下仁田ねぎ祭りの予算と内容は。

答 平成28年度と同額の432万円を計上している。昨年の下仁田ねぎ祭りでは来場者とスタッフにアンケートを実施した。結果を参考に下仁田ねぎ祭り実行委員会で検討したい。

問 林政連絡会議の参加者と開催数は。

答 平成27年5月に発足し、外部有識者として、下仁田木材組合長・下仁田木材協同組合長・下仁田森林組合長・富岡森林事務所長・富岡森林事務所集約化専門官、オブザーバーとして下仁田木材組合副組合長が参加している。会議は概ね年

3回程度開催している。

問 荒船の湯の、委託料は経営努力による減額が見込まれているか。

答 協定書には3年間同額で1500万円となっている。下仁田町観光協会から今年度は、食事提供時間短縮による人件費削減などにより1200万円で済むので減額したい旨の通知があった。



下老連 グラウンドゴルフ大会

広域圏NEWS

病院議会

下仁田南牧医療事務組合議会定例会が、3月6日と24日に開催された。

◆平成28年度病院事業会計補正予算
全会一致で可決

◆平成29年度病院事業会計予算

主な内容は、医療機械整備事業に、1300万円計上し、医用テレメーター、眼科用検査機器、人工呼吸器等を整備。企業債償還金9355万円などを見込んでいる。

環境議会

甘楽西部環境衛生施設組合議会定例会が、3月6日と24日に開催された。

◆監査委員の選任

下仁田町大字下仁田 加庭紀夫氏
全会一致で選任

◆平成29年度甘楽西部環境衛生施設組合予算

予算総額3億2760万円で、前年度対比9.1パーセントの減額

主な減額理由は、設置後15年経過したクリーンポケット（最終処分場）の整備工事が終了したため。

全会一致で可決

審 議 結 果

1 月臨時会（1 月 30 日開催）

○は賛成、×は反対を表しています

議案番号	議 案 名	議 員 名											審議結果
		小須田肇	岡田邦敏	永井正之	木暮弘元	岩崎正春	佐藤博	千野榮治	島崎紘一	堀口博志	岡田武二	佐藤公夫	
1	平成28年度「道の駅しもにた」新販売施設建築及び既存施設改修工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

3 月定例会

議案番号	議 案 名	議 員 名											審議結果
		小須田肇	岡田邦敏	永井正之	木暮弘元	岩崎正春	佐藤博	千野榮治	島崎紘一	堀口博志	岡田武二	佐藤公夫	
2	下仁田町固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
3	下仁田町役場課設置条例の一部を改正する条例 ※町長公室の設置及び課名変更です。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
4	下仁田町個人情報保護条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
5	下仁田町職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
6	下仁田町長、副町長及び教育長の諸給与支給条例の一部を改正する条例 ※町長、副町長、教育長の出張における日当を廃止する改正です。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
7	下仁田町職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
8	下仁田町議会の議員の諸給与支給条例の一部を改正する条例 ※議会議員の出張における日当を廃止する条例です。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
9	中西文庫基金の設置に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
10	下仁田町税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
11	下仁田町学校給食共同調理場設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
12	下仁田町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
13	下仁田町小口資金融資促進条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
14	下仁田町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
15	下仁田町一般職の任期付職員の採用等に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

16	大河原文庫基金の設置に関する条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
17	下仁田町第5次総合計画の策定について ※平成29年度から10年間の長期的な展望を示すものです。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
18	下仁田町と南牧村との間における学校給食に係る事務の受託に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
19	平成28年度下仁田町一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
20	平成28年度下仁田町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
21	平成28年度下仁田町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
22	平成28年度下仁田町介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
23	平成28年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
24	平成28年度下仁田町水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
25	平成28年度下仁田町ガス事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
26	平成29年度下仁田町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
27	平成29年度下仁田町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
28	平成29年度下仁田町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
29	平成29年度下仁田町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
30	平成29年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
31	平成29年度下仁田町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
32	平成29年度下仁田町ガス事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
33	財産の取得について ※「道の駅しもにた」再整備計画に関するものです。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

議会だより第76号（平成29年2月1日発行）の内容に誤りがありました。

議案番号	議案名	議員名											審議結果
		小須田肇	岡田邦敏	永井正之	木暮弘元	岩崎正春	佐藤博	千野榮治	島崎紘一	堀口博志	岡田武二	佐藤公夫	
誤) 98	平成28年度下仁田町一般会計補正予算（第4号）	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
正) 98	平成28年度下仁田町一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	可決

訂正してお詫び申し上げます。

行政視察報告

▼総務常任委員会

視察日

平成29年2月14～15日

視察先

第1日目 茨城県古河

市第五小学校(午前)、

大和田小学校(午後)

第2日目 茨城県水戸

市国田義務教育学校

視察目的 ICTを授

業に取り入れた先進

事例と小規模小中一

貫校教育について

古河市では、平成24

年にICT機器活用公

開授業研究会を実施

し、平成27年度よりI

CT教育に取り組んで

きた。古河市では小学

校が23校あり、うち一

人一台整備は3校。タ

ブレット端末台数は

1564台。選定はプ

ロボーザルで行い、そ

の選定条件は

①5年間使い続けるこ

と

②サーバーレスのクラウド環境を実現できること

③タブレットに不具合

が起きないことなど、

条件的に選定した。

④第五小学校では児童

数115名、一人一台

を使っている。

⑤家庭への持ち帰りは

認めていない。

しかし、校外授業や

修学旅行には一緒に持

ち出せて、見学したこ

との記録や、位置情報

など児童の安全確認に

も効果があった。授業

では、読む、書く、考

えることを基本にしな

がら、問題を解く過程

や、なぜそう考えたか

などタブレットで、ク

ラスで共有し、授業の

つまづきを少なくして

いる。

次に大和田小学校

は、純農村地帯で古河

市でも最も児童数は少

なく80名。授業の中
では主にグループで発
表したり、絵コンテを
書いたり、自分が考え
たことを具体化し、思
考の可視化を行っている。
タブレットを使う
ことでプログラミング
では、グループでの発
表や話し合い、他から
のアドバイスや、それ
による手直しをするこ
とが容易で、児童の思
考能力を高め、広げて
いくことに期待が持て
る。

第2日目の水戸市国

田義務教育学校は、小

規模特認小中一貫校と

して平成28年4月ス

タート。児童生徒数は、

1～6年生108名、

7～9年生170名合

計278名。少子化が

著しく、児童生徒数の

減少から廃校の危機に

あった。そこで小規模

特認校制度を平成26年

から利用し、通学区は

残しながらも、水戸市

民なら学校区に関係無



古河市第5小学校



古河市大和田小学校

く市内全域から就学で
きる一貫校とした。募

集人員は、各学年35名

以内として、また就学

の条件として4つある

①水戸市内に居住

②本校の教育活動及び

P・T・A活動に賛同、協

力する

③通学は、保護者の送

迎または公共交通を利

用する

④卒業まで在籍する

児童生徒の研究心を

高めるためにタブレッ

トを使い、お互いの考

えを深め合うことがで
きる。

幼稚園も校内に併設

されていて、幼児から

9年生までオール・イ

ン・イングリッシュ

教育ができる。また中

学校へ行つて経験する

教科担任制を早い段階

から実施できるので、

高学年学科へのストレ

スが軽減できる。小中

一貫校としたことで、

全体のカリキュラムを

基礎体験・問題解決力

の育成・人のために役

立つ教育とすることが
できた。

当町でも、ICT活

用、教科担任制、小中

連携等目指すことで大

変参考になった。子供

たちを取り巻く環境も

多様になり、いかに変

化する時代にあった質

の高い教育を提供でき

るかを再認識した視察

でした。

(委員長 千野榮治)

▼社会経済常任委員会

視察日

平成29年2月7～8日

視察先

①石川県能美市ののみし

(株)中東

集成材事業部

②石川県小松市

(株)小松製作所

粟津工場

視察目的

CLT製造施設視察とCLT建造物等視察

《CLT製造施設》

(株)中東は、昭和

43年設立、社員数60人の規模で、国内外に広く構造用集成材の製造・販売などの事業を展開している企業であり、主な実績として、金沢駅東口のシンボルとしても有名な「鼓門」の建設に携わっている。群馬県においては、草津温泉湯畑前の共同入浴施設「御座之湯」、藤岡市鬼石の多目的ホール等を



(株)中東の作業風景

手掛けている。本社工場内に、昨年1月に完成したばかりのCLT製造棟があり、同年9月に国内6例目となるCLTのJAS規格(日本農林規格)認定を取得している。

この工場の大きな特徴として、国内初となるCLTと集成材の混成ラインが導入され、同一プレスラインによる両素材の生産

を可能としており、集成材が月産600立方メートル、CLTが月産300立方メートルの生産を可能としている。

工場内にはCLTで製作された見学台が設置されており、※ラミナーの投入から接着剤の塗布、積層、接着に至る製造ライン一連の作業状況をつぶさに見て取る事ができた。

また、国内のCLT情勢は、欧米各国に比べ15年程度遅れており、海外では大型商業施設やホテル等への利用により年間約65万立方メートルのCLTパネルが製造されているが、国内では年間約5千立方メートルの生産に留まる状況との説明を受けた。

《CLT建造物》

(株)小松製作所粟津工場は、昨年5月に竣工した社員食堂を視察したが、この新食堂のテラス部に北陸地方初となるCLT材が用いられており、地元林業活性化支援策の一つとして、地場産材である「かが杉」を活用したCLT工法を試験的に取り入れ、需要拡大の契機となる事を期待していると説明があった。

また、(株)小松製作所粟津工場は、従業員2700人の規模を

誇り、技術者の中にはバイオマス関連に対応できる者も数多くいるとの説明を受けた。工場内で利用する「動力・電力・空調」設備へ、バイオマスボイラーで発生するエネルギーを無駄なく活用しており、同等のエネルギーを全て電力購入により賄った場合と比較して、その費用対効果があると説明を受けた。

しかし、昨年5月に竣工したCLT材を活用した、社員食堂を見学した際、外壁のテラス部分に使用した、CLT材に日照や風雨の影響による「劣化」「変色」等が確認された。このことから、下仁田道の駅再整備計画に係る外壁等CLT材の使用については一考をお願いしたい。

(委員長 木暮弘元)



CLTを活用した社員食堂

⑦ 下仁田町消防団



富岡甘楽地区消防ポンプ操法競技大会

第五分団 前分団長 下山 英樹さん

下仁田町消防団第五分団は、中央区、大東区を第1部、小川区、城西区、緑ヶ丘区、蒔田区を第2部として構成され、分団長以下30名、ポンプ車1台、可搬ポンプ車3台で馬山地区の消防団活動をしています。

第五分団では、富岡市南蛇井地区の火災や富岡市野上地区の山林火災にも消火活動に出動しています。特に富岡市南蛇井地区の第七分団とは、昔から交流があり絆を深め、何かあったら協力し合えるようにしています。

昨年は、7月にポンプ操法大会の富岡、甘楽地区の支部予選会があり、第五分団のポンプ車1台と、可搬ポンプ1台が出場しました。3月から、仕事を終えてからの練習や、

休日の練習に励み、可搬ポンプの部では、優勝して県大会へ出場することが出来ました。その時には、下仁田消防署の署員の皆さん、役場関係者の皆さんには、多大なるご支援、ご協力をいただき本当にありがとうございます。

私は、このポンプ操法大会に出場したことにより、第五分団内の絆がより深くなったこと、団歴の浅い団員のホースやポンプの使用方法など得られた部分も多かったと思います。この経験を有事の際に生かして消防団活動を行い、地域の皆さまの生命・財産を守っていきけるように努めていきたいと思っています。

議会だより・会議録をホームページでご覧下さい。

<http://www.town.shimonita.lg.jp/>

次の定例会は6月の予定です
議会傍聴をお待ちしています。
日程などのお問い合わせは

☎64-8810



編集室から

春から初夏へ、一年で一番命の芽吹きや躍動感がある季節となりました。

植物の成長のごとく生命の営みが絶え間なく続き、繁榮して欲しいと今を生きる私たちと同じように祖先も思ったことでしょう。

「議会だより77号」をお届けします。「あなたと議会を結ぶ確かな信頼」を常にモッ

トーとし紙面づくりに励んでいるところであります。今後とも皆様からのご意見、ご感想をお寄せいただきますようお願い致します。

M・I

広報発行特別委員会
委員長 永井正之
副委員長 岡田邦敏
委員 木暮弘元
千野榮治
岩崎正春
島崎紘一